

目指すべきまちの姿

小さくてもキラリと光る 誇りと 活力に満ちた ふるさと勝山

基本理念

エコミュージアムによる ふるさとルネッサンス の実現

21世紀を迎えて10年がたちました。この間、勝山市では、市の再生と未来への進化を目指した「ふるさとルネッサンス」を理念に、勝山市エコミュージアム構想に基づいたまちづくりを進めてきました。その結果、市民の勝山市に対する愛着、そして勝山にゆかりのある「ふれあい市民」のふるさと「勝山」に対する関心や思いが高まってきました。

次の10年間のまちづくりの設計図となる第5次勝山市総合計画では、この流れを引き継ぎ、私たちが過去から受け継いできた大切な遺産を最良の形で次の世代へ伝え、勝山市のさまざまな個性を磨き、魅力に高めることで、長期的な展望に立った持続可能なまちづくりを進めていきます。

働く場の確保や広域交通体系のさらなる整備・充実に向けた取組み、産業振興および観光振興、人が住みたくなる環境整備など、時代の変化を先取りした政策を積極的に推進し、「選択されるふるさと」「誰もが住みたくなるまち」の実現による人口減少の抑制を目指します。

そして、市民力、地域力の向上を図るため、市民のまちづくりに対する意欲を高め、これを支援していくことで、「小さくてもキラリと光る 誇りと活力に満ちた ふるさと勝山」を実現します。

まちづくりの芽をふくらませる
市民の活動を
一体となって支え、
いきいきと**躍動**するまちを実現



まちの将来像

基本政策 ふるさと勝山に輝く2つの力を高める

地域力



勝山市の基盤となっている各地区の地域力の向上

勝山市の基盤となっている現在の公民館ごとの10地区と、その地区を構成している集落（区）においては、特に少子高齢化にともなう人口構成の変化によって、地域の活力が失われつつあります。

人口減少社会においても、雪や地震などの災害に対する地域防災対策の充実や、地域に残る貴重な伝統文化の継承を図っていくために、市内10地区それぞれの活性化を図るとともに、それらを構成している集落などの活性化、再生に向けた新たな展開を図ります。

また、勝山地区を中心とする市街地と周辺の中山間地域それぞれの地域の特質、規模に応じた柔軟な施策を推進し、新しい時代に対応した持続可能なコミュニティの実現による「地域力」を高めていきます。

1. 基礎的コミュニティとその集合体である地区の活性化
2. 各地区の特色ある地域づくりの推進

エコミュージアムの新たな展開による市民力の向上

勝山市は、平成14年10月策定の「勝山市エコミュージアム推進計画」に沿って、9年間にわたって「わがまちげんき発掘・創造・発展」の各事業を展開し、市民が主体となって市内各地区に埋もれていたさまざまな遺産や魅力の再発見とその活用の取組みを支援するなど、エコミュージアムによるまちづくりを進めてきました。

その結果、自然、歴史、産業、地質・地形など、さまざまな遺産を再認識した一人ひとりの市民の、ふるさと勝山に対する自信と誇りを高めることができました。

今後は、環境、福祉、産業、教育など、幅広い分野における政策推進の基礎として、10年後の勝山市がさまざまな魅力にあふれた「選択されるふるさと」の実現に向けたエコミュージアムの新たな展開によって「市民力」を高めていきます。

1. 「わがまち魅力醸成事業」の展開
2. 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークの推進によるまちの活性化
3. エコ環境都市の実現



市民力